

## 認定 NPO 法人 WE21 ジャパン・ほどがや

### 2019 年度 事業報告

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

2019 年度、日本列島各地でいくつもの水害に襲われ、地球温暖化の現象がますます人々の暮らしを脅かしました。そして、年明けとともに新型コロナウイルスの感染があつという間に世界中に広がり、終わりの見えない不安な社会状況が今も続いています。WE21 ほどがやでも、感染拡大防止のため、2 月に開催予定だったフェアトレードフォーラムや、3 月の創業祭、20 周年感謝ウィークなどのイベントを中止しました。グローバリズムがもたらした思いがけない災厄は、あらためて社会のいろいろな歪みをも浮き彫りにしています。この地球規模の危機的状況をどう乗り越え希望につないでいくか、市民活動をすすめてきた私たちにとっても重い課題です。

## I 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース・リサイクル事業）

### 1. WE ショップ「星川店」「天王町店」を運営し、地域のチャリティショップとして、その価値を高めます。

それぞれのショップの特色を生かした年間計画を立て、円滑で安定したショップ運営を目指しましたが、売上年間目標額、星川店 670 万円 天王町店 690 万円には届きませんでした。顧客の高齢化や固定化、良質な寄付品の減少という課題を解決する対策が足りませんでした。さらに 3 月は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、来客数も落ち込みました。しかしながら、携帯電話や廃食油、羽毛製品の回収は徐々に認知度が広まり、CO2の削減に貢献しました。WEショップで進めている資源循環活動が、どのような効果をもたらしているかを数値化してわかりやすく伝え、より多くの人に認知を広げ、共感を集めることが大切です。日々のショップ運営を支えてくださるボランティアの力も大きく、皆にとって居心地のよいショップの環境づくりを心がけました。

#### 【星川店活動報告】

売上: 6,235,924 円(税込) (前年比95,3% 月平均 519,660 円 1日平均 26,738 円 )

営業日数:236 日(月平均 20 日) 顧客数:6942人(前年比 97,2%)

寄付者数:1151人(前年比 92% 新規 38 人 前年比 65,5%)

ショップボランティア延べ人数:617 人 (前年比 118%)

- 1)スタッフ3人体制でショップ運営を行いました。毎月のショップ運営スタッフミーティングでは、企画等の準備を徹底し、事後の点検評価をし、課題があれば対策を講じて、業務の効率化と顧客ニーズの確認などを共有しました。今年新たに参加したボランティアは短期間での交代が多かったが数名の方は引き続きショップボランティアとして参加し、ショップ運営の大きな力となっています。ショップを通して社会参加意識、リメイク作品作りなど自己充実の一助となっています。
- 2)イベント企画では、売上が減少する8月の対策として、新たに7月にほどがや2店舗で夏セールを実施し、共通カラーチラシを作り、8月に使用できる共通感謝券を配布するという試みをしました。4月と9月には、お楽し

みフェア月間として週ごとに品物をまとめて出しました。年3回のセールでは日頃ショップにでない物を出してお客様を大いに盛り上げました。

- 3) 寄付品、来店者共に減少傾向ではありますが、地域の活動団体との交流と情報発信場所の役割として前年度に引き続き廃油の回収、更に今年度から地場野菜の販売協力(朝市街道・ほどがや産直便)、資源を生かす取り組みとして羽毛製品の回収も始めました。お客様に徐々に浸透し、好評を得ています。
- 4) 企画「着物フェア」は年に一度の地域の楽しみとなり、オールほどがやのスタッフ、ボランティア、理事が一丸となり WE ショップほどがやとして、実施をしました。新聞社への無料掲載、タウンニュースの広告掲載、ショップ周辺のチラシ配りや、DM はハガキから封書に変更するなど広報戦略を強化し、販売戦略、レイアウトなどにチャレンジし、売り上げ向上に繋がりました。
- 5) リメイク作品を楽しみに来店する方も増えています。リメイクの衣類に関しては、要望があるものの作品制作が追いついていない状態です。リメイクの作品作りと広報活動と共に今後の課題として取り組みます。
- 6) 現物寄付の現金寄付化の試行をしました。
- 7) 就労支援研修(2名)と横浜サポートステーション(1名)職業体験(岩崎中学校 2名)を受け入れました。

### 【天王町店活動報告】

売上: 6,187,742 円(税込) (前年比90,2% 月平均 51,5645 円 ・1日平均 26,325 円)

営業日数: 234 日(月平均 20 日) 顧客数: 7480 人(前年比90,7%)

寄付者数: 1729 人(前年比 92% 新規 52 人 前年比 82,5%)

ショップボランティア延べ人数: 600 人 (前年比 121,4%)

- 1) スタッフ3人体制でショップ運営を行いました。毎月スタッフミーティングを開催し、年間計画実施に向けて話し合って運営をしました。10月以降はスタッフ2人体制になっています。
- 2) ボランティアを増やすべくチラシを配布したり、声かけもしましたが参加にはつながりませんでした。スタッフが1人になる時間帯には、理事会の協力を得て一人体制は減りました。ボランティアの増員は引き続き今後の課題です。
- 3) フェアトレードフェアを年2回(5月、12月)開催しました。  
フェアトレード品を広めるとともに支援を身近に話すきっかけとなりました。  
TPAK(認定NPO法人地球市民 ACT かながわ)、CYR(認定NPO法人幼い難民を考える会)のフェアトレード雑貨の受託販売を行いました。
- 4) 3・11を忘れない  
東北支援品を仕入(ムラカミの海産物、百屋のカレー、菓匠庵のお菓子)等を9月、3月に販売しました。
- 5) 7月、2月のセールの時感謝券(800円以上購入)の人にプレゼントし、8月と3月に使用してもらいました。  
7月は両店舗共通の感謝券(128枚配布し、79枚回収)2月は99枚を配布し、26枚の回収
- 6) シルクロード商店街主催のフリーマーケット(4月)に参加し、WEの活動をアピールしました。  
※10月より「YCVテレミン商店街」に名前を変更しています。
- 7) 岩崎中学校 2名の職業体験、就労支援(ワーカーズ・コレクティブ協会、3名)Iビリーブ(就労移行支援事業所 1名)の受け入れを行いました。
- 8) 2月9日イオンの閉店により商店街の人どおりが少なくなり、今後WEをどのようにアピールしていくか大き

な課題となっています。

## 2019 年度企画売上実績 & 月間売上実績

| 星川店  | 企画名                   | 日程      | 企画売上実績(目標)          | 月間売上実績(目標)               |
|------|-----------------------|---------|---------------------|--------------------------|
| 4 月  | リメイク作品棚卸し他            | 8~12 日  | 19,076 円            | 414,115 円 (40 万円)        |
| 5 月  | 花器市                   | 7~9 日   | 14,364 円 (2 万円)     | 433,821 円 (45 万円)        |
| 6 月  | ガラス市                  | 10~12 日 | 7,921 円 (2 万円)      | 434,470 円 (45 万円)        |
| 7 月  | 夏セール                  | 8~12 日  | 436,386 円(35 万円)    | 736,071 円 (60 万円)        |
| 8 月  | 感謝券使用期間               | 1~31 日  |                     | 418,663 円 (40 万円)        |
| 9 月  | 手芸用品市 アクセフェア          | 9~20 日  | 236,729 円(12 万円)    | 577,358 円 (60 万円)        |
| 10 月 | 貧困なくそうキャンペーン          | 17 日    | 24,230 円 (4 万円)     | 468,630 円 (55 万円)        |
| 11 月 |                       |         |                     | 476,823 円 (50 万円)        |
| 12 月 | 歳末感謝セール               | 2~6 日   | 415,787 円(35 万円)    | 662,252 円 (60 万円)        |
| 1 月  | 新春初売り                 | 6~7 日   | 135,263 円(15 万円)    | 420,194 円 (60 万円)        |
| 2 月  | 着物リサイクルフェア            | 3~5 日   | 596,835 円(50 万円)    | 847,112 円 (90 万円)        |
| 3 月  | 創業祭(中止)<br>3. 11を忘れない | 11 日    | (28 万円)<br>22,100 円 | 346,411 円 (65 万円)        |
|      |                       |         |                     | <b>6,235,924 円 93.1%</b> |

### 天王町店

|      |                        |               |                             |                          |
|------|------------------------|---------------|-----------------------------|--------------------------|
| 4 月  | 春の感謝セール                | 25~27 日       | 243,272 円(35 万円)            | 763,494 円 (78 万円)        |
| 5 月  | フェアトレードフェア             | 13~18 日       | 100,805 円 (5 万円)            | 497,328 円 (55 万円)        |
| 6 月  | ガラス食器市                 | 3~8 日         | 3,266 円 (2 万円)              | 432,385 円 (57 万円)        |
| 7 月  | 16 周年創業祭               | 4~6 日         | 293,776 円(30 万円)            | 600,027 円 (68 万円)        |
| 8 月  | 感謝券使用期間                | 1~31 日        |                             | 421,849 円 (38 万円)        |
| 9 月  | 東北支援品の販売               |               | 55,603 円 (5 万円)             | 373,276 円 (40 万円)        |
| 10 月 | 貧困なくそうキャンペーン           | 17 日          | 30,390 円 (4 万円)             | 484,765 円 (60 万円)        |
| 11 月 | 秋・冬感謝セール               | 18~22 日       | 330,009 円(35 万円)            | 724,501 円 (75 万円)        |
| 12 月 | フェアトレードフェア             | 2~7 日         | 63,368 円 (6 万円)             | 472,104 円 (47 万円)        |
| 1 月  | 新春初売り                  | 6~7 日         | 160,627 円(20 万円)            | 483,641 円 (54 万円)        |
| 2 月  | 春待ちわくわくセール             | 20~22 日       | 220,860 円(25 万円)            | 581,140 円 (65 万円)        |
| 3 月  | 3. 11を忘れない<br>東北支援品の販売 | 11 日<br>2~3 月 | 11,810 円 (4 万円)<br>44,588 円 | 353,232 円 (53 万円)        |
|      |                        |               |                             | <b>6,187,742 円 89.7%</b> |

## 2. 地域における環境保全の推進を図ります。

(1)地域内循環による CO2 削減を目指し、寄付品を有効活用し環境に配慮した活動をすすめます。

寄付品の更なる活用としてリメイク活動を開催し、古着の魅力を発信する場として継続した講座の開催に努力してきました

販売した衣類点数 星川店 4684 点 CO2削減量 9.2t 天王町 5905 点 削減量 11.4t

(2)リユースリサイクル部会の開催して情報を共有し、共有に努めます。

隔月の定例開催として 6 回開催、情報の共有をしました。

(3)リメイク品の売上年間目標額 48 万円とします。

売り上げ実績 436,402 円(達成率 90,9% 前年比93%)でした。リメイク品の企画開発については、着物を利用した「アロハシャツ」「四季を表現した小物づくり」等の努力はありましたが、作り手の定着化から更に広げる事はできませんでした。

リメイク作成者の減少は継続性を考えると厳しい現状です。具体性をもった今後の活動の課題とします。

(4)寄付品の有効活用を検討し、リメイク連続WE講座を開催しました。

連続講座は、2 回参加することで完成としたが、1 回に止まるなどから今後への再考が必要となりました。

|        |                     |             |
|--------|---------------------|-------------|
| 布ぞうり講座 | 6 月 13 日(木) 20 日(木) | 参加者 3 名 4 名 |
|        | 9 月 12 日(木) 19 日(木) | 7 名 5 名     |
| さきおり講座 | 10 月 8 日(火) 14 日(月) | 4 名 4 名     |

リメイク講座については連続講座とせず毎月開催を目的とし開催しました。

|                        |          |             |
|------------------------|----------|-------------|
| 4 月 3 日(水)             | おひな様     | 参加者 8 名     |
| 6 月 5 日(水)             | 手縫いの手提げ  | 5 名         |
| 7 月 3 日(水)             | ペットボトル入れ | 4 名         |
| 9 月 4 日(水)10 月 2 日(水)  | 干支の親子ねずみ | 7 名 ・ 7 名   |
| 11 月 7 日(水)12 月 4 日(水) | 正月飾り     | 10 名 ・ 11 名 |

※5 月、8 月、1 月、2 月は休み、3 月は延期にしました。

(5)寄付品、リメイク品、等の在庫管理を徹底しました。

また、リメイク材料となる着物については、会員宅の好意により置いて頂き、リメイクメンバーによる毎月の整理を行いました。(年 17 回 展示物・販売品づくり、講習会準備、まなぶん祭り・WE フェスタ・着物フェア準備 着物整理、作業室整理、掃除など)

(6)「現物寄付の現金寄付化」を試行しました。これは、日本では寄付とボランティアで運営するチャリティショップに対して税制優遇がなく、多額の税金を支払うことに対して、現行税制下でも可能な税の軽減化を図るものです。WE21 ほ도가やの消費税を軽減し、非課税の寄付金を増やし、寄付者も税額控除の対象となるという利点があります。専門家の教えを受け、税務署の了解も得て試行しましたが、ショップでの他の販売品との区分け、販売後の会計事後処理などの態勢が整わないため、取り組まないことにしました。

(7)WE21 リメイク連絡会に参加、他地域 NPO と情報の共有をしました。(年 6 回)

WE21 主催による「WE フェスタ 2019」に参加、リメイク品の販売、横浜美大との共催によるエコバッグ作りに協力しました。WEフェスタ売上 21 点(104 点出展) 36,600 円

(8)ほ도가や街の学習応援隊の活動 PR 展に参加、新作品の「アロハシャツ」等リメイク品の展示をしました。

(保土ヶ谷区役所にて、9 月 27 日～10 月 6 日 )

「ほ도가や生涯学習フォーラム まなぶん祭り」にて、リメイク品、フェアトレード品の販売し、WE21

ほ도가やのアピールを行いました。当日は 3 人ボランティアで参加しました。

(9) ショップで販売できなかった衣類は WE21 グループ提携先のナカノ株式会社で再利用され、同社が開発したエコ手袋を販売しました。

ガラス・陶磁器についても飯室商店、木村管工(株)を通じて再資源化を図りました。

(10) TOKYO 油田(株式会社ユーズ)の回収ステーションとして使用済み食用油の回収を継続しました。

回収された油は車の燃料および石けんなどへリサイクルされます。

回収量 星川店: 205kg (昨年248kg) CO2削減量 533kg

天王町店: 270kg (昨年290kg) CO2削減量 702kg

(11) 原発に頼らない自然エネルギー社会の構築に向けて、ショップの電気は、使用済み食用油のリサイクルで電気を起こす「TOKYO 油電力」を使用しました。

(12) 携帯電話、小型電子機器の回収「めぐりケータイ」に取り組み、鉱物資源のリサイクルをすすめました。

取り出したレアメタルの売却利益がフィリピンボ村の鉱山開発跡地の緑の回復事業への寄付になります。

回収台数 44 台(昨年 32 台)

(13) 11月から羽毛循環システムを推進する「グリーンダウンプロジェクト」の協力店となり、ダウン50%以上の羽毛(布団・ダウンジャケット)の回収を開始しました。羽毛は限りある資源であり、適切な処理をすれば100年使い続けられる持続可能な資源であること、CO2削減にもつながることなどを広報していきます。

回収数 星川店 羽毛布団 2 枚 ダウンコート 8 枚 天王町店 羽毛布団 7 枚、ダウンコート等 7 枚

(14) 環境保護を進めるために、マイバッグ、エコバッグの持参の呼びかけをし、定着してきました。

【日時】 通年

【場所】 WE ショップほ도가や星川店・天王町店、その他保土ヶ谷区内

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ・リユース・リサイクル部会 15 人 リメイク・ぞうり・さきおりチーム 12 人

【受益対象者】 主に保土ヶ谷区内の市民

【支出額】 12,283,606 円

## II アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業(民際協力事業)

### 1. 主にアジア地域を対象として、草の根の市民の力を高めます。

(1) 情勢を的確に捉え、支援・協力が必要な地域や人々について討議し、草の根の市民の力を高めるために適切な支援を検討しました。

(2) 支援先については、支援・平和チームが事前検討し、理事会で決定しました。。支援チーム会議は年 11 回開催しました。

(3) 同じプロジェクトを支援する WE21 グループの地域 NPO と連携して情報を共有しました。

|       |                                           |          |
|-------|-------------------------------------------|----------|
| フィリピン | ギブガン郡ルボ村での鉱山開発跡地の環境回復事業(通称: BGA シュントック財団) | 200,000円 |
| カンボジア | ゆたかで幸福なコミュニティ(S3)の構築プロジェクト                | 200,000円 |

|         |                                                           |          |
|---------|-----------------------------------------------------------|----------|
|         | (ポンロック・バイトーン有機農園学校)                                       |          |
| タイ      | タイ・ラオス国境地域における HIV/AIDS の予防とケアプロジェクト(健康とわかちあい財団)          | 100,000円 |
| パキスタン   | 平和にユナイト！パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連帯（一般社団法人 平和村ユナイテッド） | 100,000円 |
| ミャンマー   | 地雷犠牲者への義足支援活動（NPO 法人地雷廃絶日本キャンペーン）<br>※WE 講座開催と参加者の寄付      | 33,600円  |
| アフガニスタン | 地域教育/識字アクション（認定 NPO 法人日本国際ボランティアセンター）<br>※オレンジ貯金箱による寄付    | 42,829円  |
| フィリピン   | クリスマス「レインボーキャンペーン」(イヤマン) ※店頭募金                            | 8,000円   |

海外支援合計 684,429円

## 1) 助成による支援

### 1. フィリピン ギブンガン郡ルボ村での鉱山跡地の環境回復事業(通称 BGA) (フィリピン)

(活動団体:シュントック財団) 【当事業への支援 10 年目】 20 万円

#### 2019 年度事業報告

鉱山開発によって破壊されたルボ村の環境を回復して住民の生計手段とコミュニティの再生を図ることを目的にした当プロジェクトは住民の大きな励みとなっています。ルボ村に適した樹種を選定するための実証実験や行政との連携が進んだことによる土の埋め戻し、植生調査や植林活動が、住民たちにより主体的かつ有効的に実施されています。また、環境フォーラムでの学びや植林活動などが他の集落にも波及し、団体名称も LPRO(ルボ・プロパー・環境回復団体)から BLEO(バランガイ・ルボ・環境団体)と変更され、村全体の活動へと広がったことは大きな成果です。 ※植生調査などで協力いただいている国際生態学センター主催(WE21 ジャパン後援)の市民環境フォーラム(1月12日@日比谷コンベンションセンター)では、ルボ村における WE21 ジャパン BGA の鉱山開発跡地の環境回復事業の報告をしました。

#### 2020 年度事業計画

本事業を開始して 10 年目となり、ハンドオーバーを念頭に置いた活動を進めます。具体的には有機農業、コーヒーなどの森林栽培が村の収入基盤として確立され、また、それにつながる活動としてジンジャーティの安全性が表示できるように栄養価テストを支援し、団体の経済的自立につなげます。そして、得た利益を基に、住民組織が主体的、持続的に環境回復活動が継続されることを期待します。さらに、鉱山開発跡地の植林への寄付となる携帯電話と小型電子機器の回収活動を今後もショップで継続していきます。

### 2. ゆたかで幸福なコミュニティ(S3)の構築プロジェクト(カンボジア)

(活動団体:緑の芽有機農園学校) 【当事業への支援 2 年目】 20 万円

#### 2019 年度事業報告

カンボジアでは 7 割以上の人が農業に依拠していますが、近隣国からの農産物輸入が増え、家族を養えずに、都市や海外への出稼ぎや借金をする農家が増えています。こうした中で、付加価値の高い有機農業の能力を強め、市場販売への道を開き、豊かなコミュニティを作ろうとしています。研修は7県で行われ指導内容はソーシャルメディアを通じて公開され、有機栽培に取り組む農家、若者が増えて、また、市場で

販売できるように、グループを作って常に野菜を提供できるようにしています。都市消費者が自費で参加する農園スタディツアーも頻繁に行われ、有機野菜への関心を高めています。

#### 2020年度事業計画

農家の経済的・社会的状態の改善に焦点をあて、市場につながる有機栽培とゆたかで幸福なコミュニティを構築するために自分の能力(知識、経験、ネットワーク)を改善するよう支援します。具体的には、潜在性がある450人の農家、コミュニティ・リーダーになる潜在性がある50人の農村の若者を支援する。特産品をもつS3コミュニティを構築し、有機栽培農家とコミュニティ・リーダーのネットワークと能力を構築します。ソーシャルメディアを通じ、より広く発信するようにします。

## 2) 寄付・募金による支援

### 1. タイ・ラオス国境地域における HIV/AIDS の予防とケアプロジェクト(タイ)

(活動団体:健康とわかちあい財団 略称 HSF)

10万円

#### 2019年度事業報告

HSF スタッフ及び陽性者グループリーダーが、HIV 陽性者をサポートしながら、陽性者自身がセルフケア能力を高める活動をしています。ケマラート郡病院での HIV 陽性者グループ活動は、内容や方法を変えて毎月3~5回実施され、HIV 陽性者リーダーによるカウンセリングも定期的に行われています。陽性者リーダーによる家庭訪問を通じて、陽性者が郡病院のケアにアクセスしやすくなっています。

#### 2020年度事業計画

HIV 陽性者グループがヘルスケアサービスのために、よりよいアクセスを持つよう能力を強化します。  
\*HSF の経済的自立を期待し、2020年度の寄付金で支援を終了する。WE21 ほどがやとしては、貧困などの様々な社会的要因で陽性者となる背景を伝え、HIV/AIDS への偏見をなくし、病院や NGO のサポートを受けながら、陽性者が自ら健康管理する能力を高めようとしていることを伝えていきます。

### 2. 平和にユナイト! パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連帯(パキスタン)

(活動団体:一般社団法人 平和村ユナイテッド)

10万円

アフガニスタンでの平和教育と地域住民による平和の取り組み支援を、2017年度より JVC が行ってきましたが、2019年度からは JVC アフガニスタン事務所が現地法人化(YVO)となりました。

2019年度5月に平和のための活動を他の地域に広げるために「一般社団法人平和村ユナイテッド」を設立し、パキスタンでの平和活動を行っている団体「SPADO」と連携して、アフガニスタン、パキスタン両国の地域から暴力や紛争をなくしていく活動を行います。

2020年度活動計画としては、パキスタンに於ける地域社会の平和のための青少年を中心とした取り組みのサポートをします。アフガニスタンの地域社会における平和の取り組みと連帯して、平和をつくり紛争を止めるための提言活動を行います。

### 3. ミャンマーの地雷犠牲者への義足支援活動 (ミャンマー)

(活動団体:NPO 法人地雷廃絶キャンペーン(JCBL))

36,600円

対人地雷禁止条約(オタワ条約)発効から20年。加盟国は164カ国になり、対人地雷とクラスター爆弾の廃棄は進んだものの、放置されたままの地雷は今なお人々の生活を脅かし続け、犠牲者の8割は一

般市民です。「NPO 法人地雷廃絶キャンペーン」は、アジア最大の犠牲者を抱えるミャンマーの僻地に暮らす犠牲者への義足支援(年間 50 人目標)と、地雷なき世界の実現に向けて人道的軍縮を訴える活動をつづけています。

#### 4. アフガニスタン教育支援プロジェクト (アフガニスタン)

(活動団体:認定 NPO 法人日本国際ボランティアセンター) 42,829 円(貯金箱 10 個)

タリバンにより女子教育が禁止されていたアフガニスタンで、15才以上の若者と成人に対する識字教育に取り組んできました。2019年度は、新たな村での識字教育教室の開始、識字教室の場所、生徒、教員の確保と運営、教員の研修を実施し、識字教育の重要性の啓発活動等を行い成果を上げました。

「電話の表示がわかる」「子供の時間割の準備を手伝える」「街の看板が読めるので早く目的地につける」など文字の読み書き、計算を学んだ生徒の喜びの声が多数報告されました。

識字アクション貯金箱は引き続き継続します。

#### 5. クリスマス「レインボーキャンペーン」(フィリピン)

(活動団体:IYAMAN INC.) 8,000 円

フィリピンのベンゲット州で活動している NGO イヤマンが、環境教育プログラムの中で毎年クリスマス時期に小学生の子供たちにクレヨンを届けるプロジェクトです。

2019年度は32の小学校に通う1530名の子供たちへクレヨンを送りました。小学校1年生と 新しく環境教育が始まった小学校の全学年の子供たちにクレヨンを配布します。今回はコミュニティからの要望があり小学校の敷地内に併設されている[デイケア]と呼ばれる未就学児クラスにもクレヨンを配布しました。

使い慣れていない子供たちは最初は戸惑っていますが、先生達の提案により「塗り絵」からはじめて、徐々に慣れてくると楽しそうに絵を書いています。その様子を撮った写真が毎年 WE ショップ宛におくられてきます。

#### 3)フェアトレード販売による支援

売上合計 581,790 円

途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目的としたフェアトレード品を販売し、お買い物でできる身近な支援として認知を広めました。ジンジャーティなどを「まなぶん祭り」でアピール販売しました。

①ジンジャーティ フィリピン (ウバパス、ダイヨコン、ランバダ住民組織、シュントック財団)

②シサムコーヒー フィリピン (シサム工房 コーディリエラ・グリーンネットワーク(CGN))

③コーヒー 東ティモール、ラオス、ペルー (珈琲工場&百屋)

④紅茶・ハーブティ インド 南アフリカ タンザニアなど (わかちあいプロジェクト)

⑤チョコレート ペルー、ボリビア (ピープルツリー)

⑥オリーブオイル パレスチナ (パレスチナオリーブ)

⑦はちみつ マラウイ共和国 南スーダン (はちみつ屋五タラント)

⑧オリーブ石けん パレスチナ (フレンズオブアシーラ アシーラ女性組合)

⑨小物・アクセサリ・雑貨

タイ(特非 地球市民 ACT かながわ) カンボジア(特非 幼い難民を考える会)



## 2. 国内において困難な状況にある人々を支援します。

|                                                                     |                 |
|---------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい<br>(10月1～31日 貧困キャンペーン)                    | 75,363円         |
| 福島ぽかぽかプロジェクト(認定 NPO 法人 FoE Japan)<br>(毎月 11 日の売上30%と3/11 売上全額 店頭募金) | 197,067円        |
| 「フクシマ～根源の記録と記憶」写真展全国キャンペーン(3月2日～14日)<br>(店頭募金)                      | 9,361円          |
| 東日本大震災復興支援まつり 2019 (12月7日) (協賛金)                                    | 5,000円          |
| フードバンクかながわ 保土ヶ谷区社会福祉協議会<br>(10月1日～31日 貧困なくそうキャンペーン) フードドライブ         | 食品寄付<br>ダンボール4箱 |
| 国内支援合計 286,791円                                                     |                 |

### 1. 認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい

10月17日売上全額 54,620円 募金 8,596円 チャリボン 12,147円 合計 75,363円

もやい(2001年設立)は、「日本の貧困問題を社会的に解決する」ために、「経済的な貧困」と「つながりの貧困」という2つの視点を活動の柱にしています。相談に訪れる人たちにとって、生活基盤の回復はもちろん、つながりの回復も不可欠であるとの考えから、生活相談から交流事業(カフェの運営やセミナーの開催)にいたるまで幅広い支援事業を行っています。また、ブログなどの広報活動を通して、関心のうすい人々に向けて、貧困を生む「日本の社会構造」の課題についての問いかけにも力をいれています。

最近では、コロナウイルス対応で仕事なくなる人々への対応、東京オリンピック開催目的で野宿者を追いやらないための署名など、社会状況に迅速に対応した活動も盛んです。

気軽に参加できる寄付品受付窓口もあり、WE21 ほどがやとしてチャリボンを実施しています。

### 2. 福島ぽかぽかプロジェクト(認定 NPO 法人 FoE Japan)

売上 星川店 90,897円 天王町店 68,027円 合計 158,924円

募金額 星川店 18,603円 天王町店 19,540円 合計 38,143円 合計 197,067円

東日本大震災による福島第一原発事故により放射線量の高い地域からの子供と家族を受け入れる保養プログラムです。比較的放射線量の低い猪苗代にある「ぽかぽかハウス」では、年に10回程2～4日と短期間ではあるが、子供たちが線量を気にせず、思い切り身体を動かしのびのびと遊び、お母さんたちは被曝について語り合ったり悩みを分かち合い、リフレッシュできる場として提供しています。近場での週末保養なので家族も気軽に参加できます。

現在ではかつて参加者であった子供達が成長し、高校生、大学生となりボランティアとして関わったり、ドイツにて、ドイツやベラルーシの若者たちとの交流にも参加しています。又、お母さん、お父さんもボランティアとしてハウスの管理や、各地に出向いての講演やエネルギー講座開催など、このプログラムは進化し続けています。しかし、まだまだ保養は必要で、需要も増えていますが、費用は寄付で賄っているのが現状です。

2015年11月にWE21・ほどがやのメンバー7名でぽかぽかハウスに出向き、ボランティアとして子供たちと遊んだり、お母さんたちと語り合ったり、何より安全な食材を使っの食事作りに大活躍してきました。

ここでは「…をしてはいけません」がないのです。自由に子供らしく過ごせる場所だと確信してきました

### 3. フォトジャーナリスト豊田直巳氏「フクシマ～尊厳の記録と記憶」写真展全国キャンペーン

店頭募金 9,361円

「フクシマは終わっていない」「フクシマを忘れないで」という放射能汚染地帯に生きる人びとの叫びと囁きを世界に届けたいと全国キャンペーンを展開している豊田直巳氏の写真展を両ショップで開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けお客様が少ない時期でしたが、写真が訴える力は大きく、何人かのお客様から感想や寄付をいただきました。多くを語らずとも社会貢献するお店であることが写真展示を通じて一目でわかり、3.11を忘れないアピールの効果はあったと思います。

### 4. 東日本大震災復興支援まつり(主催:生活クラブ生協神奈川)

協賛金 5,000円

3.11を風化させないために、岩手、宮城、福島から美味しい物産の販売と人々の交流、つながりを深め、東北の復興に向けたメッセージを横浜から発信する企画に賛同しました。

### 5. フードドライブ活動 ～もったいないを分かち合い・ありがとうへ～

公益社団法人フードバンクかながわへ 3箱 保土ケ谷区社会福祉協議会へ 1箱

今年も「貧困なくそうキャンペーン」期間に、ショップに回収箱を設置して家庭で余っている食品を提供していただき、生活困窮者や施設に届けるフードドライブ活動を実施しました。

### 6. 東北の生産地を応援する食品の販売

売上合計 100,191円

年に2回、さまざまな東北支援品を販売し、多くのお客様に好評を得ました。

海産物(宮城県気仙沼市 ムラカミ商店) レトルトカレー(岩手県宮古市 珈琲工場&百屋)

菓子(福島県いわき市 菓匠庵 福島県郡山市 郡山銘販)

## 3. アジア地域および国内の市民と学びあう場をつくりまします。

### (1) フードバンク学習会

講師:土山雄司氏(公益社団法人フードバンクかながわ事務局次長)(10月2日参加者15名)

「貧困なくそうキャンペーン」の事前学習会を行いました。日本では7人に1人が貧困に苦しんでいる現状を知り、地域で安心して暮らせるためのセーフティネットのひとつであるフードバンクの役割とWEショップが参加する意義を学びました。

### (2) カンボジア「ゆたかで幸福なコミュニティ(S3)の構築」活動報告会

講師:米倉雪子氏(2月12日参加者9名)

米倉さんのカンボジア訪問報告と、S3プロジェクトの報告会を行いました。国際社会におけるカンボジアの現状や農家の出稼ぎ、借金増加の背景と影響、そして、地元で有機農業を進める若い生産者グループの研修や共同販売へのサポート、消費者スタディツアーの様子など映像を交えて報告を受けました。

### (3) スタディツアーは実施できませんでした。

#### 4. フェアトレードのマップづくりに向けて、販売の充実と認知の拡大に努めます。

(1)WE ショップでのフェアトレード販売の充実を図ります。

- ・天王町店にてフェアトレードフェアの実施 売上 5月 100,805円 12月63,368円  
5月は目標額の2倍の成果をあげました。レイアウトを工夫しフェアトレード品の充実に努めました。
- ・ジンジャーティの販路拡大に努め、まなぶん祭り(11/9)でアピール販売し10本売れました。
- ・「珈琲工場&百屋」で販売してもらえることになりました(12月～)。

(2)市民にフェアトレード品への理解を広めます。

フェアトレードの認知を高めるためのフォーラム開催に向けて、企画立案、登壇者の方々との日程調整等を行い、保土ヶ谷区市民活動はぐくみ補助金の助成を得ることもできました。保土ヶ谷区、WE21 ジャパン、ほどがや産直便、保土ヶ谷・西まちづくり協議会の後援をいただき、さまざまな広報で参加呼びかけを行いました。50名の方から参加申し込みをいただいていたのですが、直前になって新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け開催を中止しました。フェアトレードマップづくりに対しての補助金は得られなかったため、活動にはつながりませんでした。

【日時】 通年

【場所】 保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ 13人

【受益対象者】 市民 支援先の住民

【支出額】 1,515,977円

### Ⅲ 地域市民の国際的な問題意識の向上を図る事業(共育事業)

(1)WE 講座を開催します。

年間3回のWE講座を開催しました。

①珈琲工場&百屋報告会(5/20 25名参加) 市民活動センターアワーズ

～ハンディのある人たちが共に暮らす地域づくりをめざして～ 講師:西山哲也氏

無農薬野菜やオーガニック&フェアトレード品の販売とともに、ハンディのある人たちと共に働き、誰もが当たり前で暮らすことのできる地域づくりを目指す活動のお話を伺いました。

②リメイク WE 講座 布ぞうり講座(6/13 3名 6/20 4名 9/12 7名 9/19 5名)

さき織り講座(10/8 4名 10/14 4名)

リメイクチームのメンバーを講師として、寄付品を有効活用した布ぞうりとさきおりの連続講座を開催しました。

③「地雷のない世界をめざして～オタワ条約20年の成果と残る課題～

(1月23日 26名参加) 保土ヶ谷公会堂2号会議室

講師:NPO 法人地雷廃絶日本キャンペーン代表理事の清水俊弘氏

たとえ戦争が終わっても地雷によって犠牲者が後を絶たない世界の現実を知り、兵器の脅威から人びとを守るために自分にできることは何かを考える講座になりました。職場体験期間中の中学生4名も参加しました。1月は地雷廃絶キャンペーンの写真パネルをショップに掲示しました。

(2)環境・平和を考える場づくりをします。

- ・「横浜にカジノは要らない」署名を行いました。ショップで9/2～30 106筆  
「横浜へのカジノ誘致に反対する寿町介護福祉医療関係者と市民の会」へ送付しました。
- ・日本チャリティーショップ・ネットワーク(JCSN)主催の「第3回チャリティーショップ・フォーラム～共感から一歩先へ～」に参加しました(9月14日 聖心グローバルプラザ 4名)
- ・WE21の慶南地域自活センター協会招聘事業での地域間交流に参加し「地場野菜を中心とした地産地消の地域活動・フェアトレード」の活動紹介を行いました(12月4日 中華街パーキング会議室)。  
星川店、天王町店のショップ訪問の受け入れを行いました(12月5日 5名)
- ・有志で「明治大学平和教育登戸研究所資料館」に見学に行きました(12月25日 10名参加)
- ・豊田直巳氏「フクシマ～尊厳の記録と記憶」写真展をショップで開催しました(3月2日～14日)  
感想ノートにはたくさんの共感の声が集まり、ショップでの共育の成果を感じました。

### (3)SDGsへの理解を市民に広げる

ほどがやニュース、貧困なくそうキャンペーン、フェアトレードフォーラムのチラシやショップの掲示などの広報で、その活動とSDGsとのつながりを伝えました。

【日時】 通年

【場所】 主に横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ 13 人

【受益対象者】 市民、支援先の住民、会員、ボランティア

【支出額】 44,757円

## IV WE ほどがや事業の広報普及を図る事業(広報事業)

### 1. 情報発信を強化し、WE21 ほどがやの認知度アップに努めます

(1)「ほどがやニュース 64号(7月)、65号(11月)」を発行しました(1500部ずつ)

20周年特別号の発行を控え 3月発行予定のニュースは来年度の発行に変更しました。

メンバーの都合により、広報会議の日程の設定が難しくなっています。

(2)セールやイベントチラシの作成を行いました。

|        |                       |         |
|--------|-----------------------|---------|
| 4月     | 春の感謝セール(天王町)          | 枚数 1000 |
| 5月     | 花器市(星川)               | 200     |
|        | フェアトレードフェア(天王町)       | 500     |
| 6月     | ガラス市(星川)              | 200     |
|        | ガラス食器フェア(天王町)         | 500     |
|        | リメイクWE講座(布ぞうり)        | 400     |
| 7月     | 夏セール(星川)&創業祭(天王町) 共通  | 4000    |
| 9月・10月 | お楽しみ月間(星川)            | 200     |
|        | リメイクWE講座(布ぞうり&さきおり講座) | 400     |
|        | 貧困なくそうキャンペーン 共通       | 500     |

|         |                                            |      |
|---------|--------------------------------------------|------|
| 11月・12月 | 歳末感謝セール(星川)&秋冬感謝セール・<br>フェアトレードフェア(天王町) 共通 | 4000 |
| 1月      | 初売り(共通)                                    | 600  |
|         | WE講座「地雷のない世界をめざして」                         | 300  |
| 2月      | 着物フェア(星川)                                  | 2000 |
|         | 春待ちわくわくセール                                 | 1100 |
|         | フェアトレードフォーラム                               | 1200 |

- (3)WE21 ほどがやの HP、WE21HPの地域情報を逐次更新し、WE21ほどがやの広報に努めました。
- (4)タウンニュース、神奈川新聞、「すみれ通信(区報)」「アワーズ広報誌」などに「着物フェア」や「フェアトレードフォーラム」の情報の掲載を依頼しました。
- (5)ショップ内の掲示については、1月の「地雷廃絶キャンペーン」と3月の「豊田直巳写真展」の写真パネルの展示を行いました。短期間でしたが外からでも目を引くようなインパクトがあり、チャリティショップとしてアピール性のある掲示の工夫に努めていく必要性を感じました。
- (6)会員・ボランティア・寄付者へのタイムリーな情報発信に努めました。ニュース64号、65号とWE21年次報告書、着物フェア、WE講座、フェアトレードフォーラムチラシなどを送付しました。

## 2. 新たな広報による受発信の検討

新たな情報媒体につなげる具体的な討議はできませんでした。フェイスブックやブログなど新たな情報発信の有効活用を考えていきます。

「人が集まるチラシの作り方講座」に出席しました。

【日時】 通年

【場所】 主に横浜市保土ケ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ・広報チーム 15人

【受益対象者】 市民

【支出額】 72,327円

## V 事業を实践するための組織活動

### 1. 持続可能な組織づくり

正会員拡大目標： 個人(年間2,000円) 60人 → 実績53人(会費納入者)

団体(年間10,000円) 1団体 (ワーカーズコレクティブ・たすけあい皆人)

→賛助会員拡大目標： 個人(年間500円 一口以上) 50人 → 実績 14人

団体(年間3,000円) 3団体 → 実績 2団体(珈琲工場&百屋、ほどがや産直便)

寄付金、賛助会員の増加の活動は進められませんでした。

ボランティアは、星川店が2人増加しましたが、天王町店は増加せず、ボランティア不足が課題となっています。10月からの消費税率、軽減税率変更に伴い、天王町店のレジ交換を行いました。同時に掲示、値札の対応をしました。

## 2. 運営と事業を円滑に進めるための雇用の促進

(1)6月にスタッフとの面談を実施。雇用契約書、就業規則、給与規定の確認、意見交換を行いました。

シフト表を見直し ボランタリーな時間の記入など、わかりやすい表にしました。

10月1日からの神奈川県最低賃金の改定(時給1,011円)に対応し、契約の更新をしました。

(2)スタッフミーティングを毎月実施しました。

ボランティアミーティングを開催し、スタッフやボランティア同士の交流の場をもちました。

星川店 12月14日(土)参加者10名 天王町店 12月27日(土)参加者8名

(3)スタッフの募集をすすめました。

天王町店スタッフに応募者があり、3月を研修期間としました。

## 3. WE21ジャパン及び地域NPOとの連携

(1)WE21 ジャパンと事業の受託、委託に関する基本契約を結び、また他地域NPOとも連携し、WE21 ジャパングループで運動を広めました。

(2)地域NPOと連携

1)横浜南エリア11地域NPO代表連絡会を構成し、共通の課題解決や協力の場をもちました。

2)中央エリアのスタッフ会議を開催し、それぞれの課題を共有しショップの運営を考える場をもちました。

(3)WE フェスタ実行委員会に参加 当日ボランティアに15名参加しました。

## 4. 団体・外部とのネットワークを拡大し、チャリティショップとしての認知度を上げる

①就労体験の場として、ワーカーズコレクティブ協会などからの依頼で、年間7名の受け入れに貢献しました。

岩崎中学校の職業体験の受け入れを行いました(4名)。

②天王町店 シルクロードフリマに参加しました。

③ほどがや生涯学習フォーラムまなぶん祭り 実行委員会に実行委員として参加しました。

まなぶん祭り当日にはフェアトレード品とリメイク品を販売し、来場者にアピールしました。

④ほどがや市民活動センター アワーズの協働運営会議に参加しました。

⑤ほどがや市民活動センター アワーズと区役所が主催する「ほどがやサンタプロジェクトスタンプラリー」の協力店になりました。(11月7日~12月7日)

⑥保土ヶ谷区魅力ある地域まちづくり事業「ほどがや 人・まち・文化振興会」に参加しました。

星川店で毎週火曜日、地場野菜の販売(朝市街道・ほどがや産直便)に協力し、定着しています

⑦生活クラブ運動グループ「保土ヶ谷・西まちづくり協議会」に参加し、相互の活動の共有を図りました。

⑧横浜市内在住65歳以上の方対象の割引制度「濱ともカード」、横浜市子育て家庭応援事業「ハマハグ」協賛店を継続しました。

【日時】 通年

【場所】 主に横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ13人

【受益対象者】 市民、会員、ボランティア

【支出額】 727,940円